

＜第4回 若園地域会議 会議録＞

日 時 令和8年7月15日（水） 19:00～20:30

場 所 若園交流館 大会議室

出席者 委 員 13名（欠席者1名）

事務局 酒井支所長、青井副支所長、松原副主幹、二宮主査

オブザーバー 澤平交流館長

1 会長あいさつ（省略）

2 報告事項

以下の内容を事務局から説明

（1）第3回若園地域会議会議録について

（2）高岡4地域合同事業の進捗について

世界ラリー選手権を生かした交通安全啓発事業の一環として、6月20日（土）に開催されたマイタウンおいでん高岡で、高岡支所がラリーの周知及び交通安全啓発に関するブースを出展したことを報告した。

- ・ブースでは、ラリーカーとの綱引き、自転車のマナーやルールを学ぶ交通安全ドリルを行い、こどもやその家族ら約150名に参加いただいた。

3 協議事項

今回協議予定であった「若園地域あんしんサポートブック」の活用方法に関する協議は、来月以降に行うことを事務局から説明を行う。

（1）「若園交流館などを拠点とした地域交流、地域活動の拡大事業」である、遊歩道のイルミネーション装飾とこどもが製作した木製プレート装飾について事務局から説明

＜主な意見＞

- ・点灯開始時刻について、17時より前に暗くなる場合を想定し、自動点灯の設定なども事業者と調整する必要がある。
- ・スポーツクラブ駐車場から会場までの動線が暗い可能性がある。点灯式当日のみでもよいので、照明の設置、防犯隊と連携した見守り、誘導等を検討する必要がある。
- ・防犯隊については、青パト・徒歩パトロールの役割や当日の参加方法について、地域防犯隊の代表者等と具体的に調整する必要がある。
- ・日中に点灯していない時間帯でもシンボルツリーが設置されているため、幼児等が登る危険性がある。安全対策を事業者を確認する必要がある。
- ・木製プレートの設置場所は、交流館のフェンスや花壇周辺等、既存設備を活用しながら検討することとした。

※また、木製プレートの設置場所の質問があり、交流館のフェンスや花壇周辺等を活用していくことを説明した。そのほか、点灯式当日には、こども達が参加できる工作を行う予定であることを説明した。

(2) 若園地域のこれから取り組むべき地域課題についてグループ協議を実施
前回記入いただいた意見シートをもとに、以下の3つにグループ分け

Aグループ：地域活性化（地域交流・こども）

Bグループ：地域活性化（まちづくり）

Cグループ：環境整備、防犯、交通安全

<グループ協議結果>

Aグループ：地域活性化（地域交流・こども）

多世代交流を進める取組。

料理を作って食べる交流（防災食・炊き出しを含む）、かるたやトランプ等の世代を問わず楽しめるゲーム、スポーツ、ごみ拾い等の案が出された。

地域団体・企業（例：吉原ファーム 21、まな viva!、スポーツクラブ、逢妻女川沿いの活動団体等）との連携が必要である。

Bグループ：地域活性化（まちづくり）

地域内に食料品店がなく、特に高齢により自家用車での移動が難しくなる人が増える。そのため、移動手段の確保が課題となる。店舗誘致や、移動の支援制度、移動販売車と呼び込む仕組み等が必要である。

Cグループ：環境整備、防犯、交通安全

環境整備については、木工室を活用し、みんなで作ったベンチが、交流館で多くの方に使われているといった地域への貢献が実感できる活動を繰り返し行うことが必要である。

全世代が利用する道路の安全性確保を最優先課題として選択。

道路拡幅等は容易ではないため、危険箇所の洗い出しを行い、既存の制度も活用しつつ、対策を考えていく必要がある。

4 連絡事項

・来月の地域会議の協議予定について事務局から説明

① 若園地域のこれから取り組むべき地域課題について

② 「若園地域あんしんサポートブック」の校正について

★次回開催 令和8年度第5回定例会 8月19日(水)午後7時～